



平成29年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年9月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ザッパラス

コード番号 3770 URL <http://www.zappallas.com>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) 川嶋 真理

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 小林 真人

TEL 03-6434-1036

四半期報告書提出予定日 平成28年9月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年4月期第1四半期の連結業績(平成28年5月1日～平成28年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年4月期第1四半期	1,163	△19.6	39	△63.9	△49	—	△37	—
28年4月期第1四半期	1,446	△13.8	109	82.1	176	178.4	197	282.0

(注) 包括利益 29年4月期第1四半期 △20百万円 (—%) 28年4月期第1四半期 62百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年4月期第1四半期	△2.94	—
28年4月期第1四半期	15.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年4月期第1四半期	8,338	7,685	92.2	603.62
28年4月期	8,428	7,705	91.4	605.22

(参考) 自己資本 29年4月期第1四半期 7,685百万円 28年4月期 7,705百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年4月期	—	—	—	—	—
29年4月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成29年4月期の期末配当は未定です。

3. 平成29年4月期の連結業績予想(平成28年5月1日～平成29年4月30日)

平成29年4月期の連結業績予想については、現時点で合理的に算定することが困難であるため、記載しておりません。当該連結業績予想については、合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

なお、現時点で将来の業績を予測するために有用と思われる情報を、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載しておりますので、ご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年4月期1Q	13,651,000 株	28年4月期	13,651,000 株
29年4月期1Q	918,500 株	28年4月期	918,500 株
29年4月期1Q	12,732,500 株	28年4月期1Q	12,732,500 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融政策を背景とした個人所得や企業収益、雇用に改善がみられる一方で、為替の変動や中国をはじめとする海外経済の減速懸念等から先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属するモバイルビジネス環境は急速な変化を続けており、内閣府が平成28年3月に実施した消費動向調査では、平成28年3月末のスマートフォン(*1)の世帯普及率は従来型の携帯電話の普及率を初めて上回る67.4%(*2)に達し、スマートフォンの普及は拡大の一途を辿っております。

このような中、当社グループでは増加するスマートフォンユーザーを取り込むべく新たな集客の仕組みづくりに努めるほか、当社の主要顧客層(20代~40代の女性)のニーズに合致した商品ラインナップの拡充に努めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、前連結会計年度において株式会社caramoの株式を譲渡した影響とZappallas, Inc. (U.S.)や株式会社PINK、キャリア公式サイトの上売が減少したことにより、売上高が前年同期比で減少いたしました。利益面につきましては、既存のキャリア公式サイトの上売減少による影響や、新たな形式の占いサービスの企画開発への積極的な投資により営業利益が減少いたしました。また、為替変動に伴う外貨建債権等の評価替えによる為替差損90,588千円等を計上いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の上売高は1,163,922千円(前年同期比19.6%減)、営業利益39,322千円(前年同期比63.9%減)、経常損失49,953千円(前年同期は176,625千円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失37,407千円(前年同期は197,013千円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

*1: iPhoneやAndroidに代表される、パソコンと同等の機能を持ち合わせた多機能携帯端末のこと。

*2: 内閣府経済社会総合研究所「消費動向調査(平成28年3月実施調査結果)」より引用。

セグメント別の概況は、以下のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

① モバイルサービス事業

< 占い >

主力の占いサービスにおいては、幅広いユーザーに対応したサービスを提供すべく、新たな形式の占いサービスの企画開発や既存サービスの改善に取り組んでまいりました。当第1四半期連結会計期間においては、前連結会計年度末にオープンしたサブスクリプション(*3)型占いアプリ「Rint」のAndroid版をリリースするなど、ライトユーザー向け占いアプリの企画開発に引き続き注力してまいりました。また、既存のキャリア公式サイトではクレジット決済機能を拡充するなど、既存サービスの改善にも取り組んでまいりました。その他、電話占いやチャット占いの順調な売上の増加もありましたが、既存のキャリア公式サイトの上売の減少により全体としては前年同期比で売上高及び営業利益が減少いたしました。

*3: 定額料金で一定期間利用できるサービスのこと。

< ゲーム >

当第1四半期連結会計期間において、女の子のための感動ファンタジー「Toys' Parade」をリリースしたほか、ストーリーに特化したドラマゲームアプリシリーズ「six doubts」の第4弾、「そろそろ、なかったコト探偵」のリリースに向けた開発に取り組んでまいりました。今後は、ターゲットに届けるためのプロモーション投資を重点施策の1つとして掲げ、効果検証を行いながら積極的にプロモーションをかけていく予定です。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の上売高は905,766千円(前年同期比6.9%減)、セグメント利益は170,526千円(前年同期比22.5%減)となりました。

② 海外事業

海外事業につきましては、米国に拠点を置く当社100%子会社であるZappallas, Inc. (U.S.)が占いコンテンツビジネスを展開しております。売上高につきましては、スポンサーシップ広告の契約先の変更に伴う一時的な売上高の落ち込み、更には、為替の影響もあり前年同期比で減少する結果となった一方で、利益面につきましては、人件費の削減やのれんの減損損失を前連結会計年度において特別損失として計上したことから、のれん償却費等の販売管理費が減少した結果、セグメント利益に黒字転換いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の上売高は91,488千円(前年同期比36.3%減)、セグメント利益は140千円(前年同期は973千円のセグメント損失)となりました。

③その他の事業

その他の事業につきましては、モバイルサイト開発運営受託業務やオンラインショッピングサイトの運営のほか、株式会社PINKにおいて旅行事業を行っております。

売上高につきましては、ママ向けオンラインショッピングサイト「cuna select」について増加いたしました。前連結会計年度において、株式会社caramoを連結範囲から除いたことや、株式会社PINKがテロの多発による海外情勢の悪化などの影響で売上が減少した結果、前年同期比で減少いたしました。利益面につきましては、古いASP事業等で利益を確保したものの、前連結会計年度における株式会社caramoの譲渡、株式会社PINKの売上減少により、セグメント損失となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は166,821千円（前年同期比49.7%減）、セグメント損失は1,252千円（前年同期は7,283千円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して90,681千円減少し、8,338,248千円となりました。その主な要因は、未収消費税等（四半期連結貸借対照表上は「その他」で表示）の減少額11,159千円、のれんの減少額67,909千円によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して70,266千円減少し、652,705千円となりました。その主な要因は、未払金の減少額53,076千円、未払消費税等（四半期連結貸借対照表上は「その他」で表示）の増加額28,216千円、長期借入金の減少額40,000千円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して20,415千円減少し、7,685,542千円となりました。その主な要因は、利益剰余金の減少額37,407千円、為替換算調整勘定の増加額16,991千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度につきましては、引き続きユーザーのニーズに合致したコンテンツ・サービスの拡充を行うとともに潜在ユーザーとの接触ポイントを拡大していくことで、当社グループの顧客基盤を確立・強化し、中長期での企業価値向上をめざしてまいります。

主力の古いサービスにおいては、よりパーソナルな対応を可能にするコンテンツ・サービスを提供すべく、新たな監修者の獲得と新たな形式の古いサービスの企画開発を進めてまいります。

また、前連結会計年度より開始したゲームジャンルの育成のほか、新たなジャンルのコンテンツ開発や新規事業の立ち上げにも継続的に取り組んでまいります。

なお、連結業績見通しにつきましては、環境の変化が激しいモバイルインターネット市場においては、臨機応変な経営判断が不可欠であり、現時点で信頼性の高い業績予想数値を算出することが困難なため、開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,519,730	6,024,356
売掛金	739,633	736,808
商品及び製品	7,114	11,777
短期貸付金	7,932	7,952
未収還付法人税等	100,678	100,548
預け金	504,471	—
その他	83,973	67,615
貸倒引当金	△4,257	△4,052
流動資産合計	6,959,276	6,945,005
固定資産		
有形固定資産	53,274	49,760
無形固定資産		
ソフトウェア	96,022	96,949
のれん	577,081	509,171
その他	39,339	33,167
無形固定資産合計	712,444	639,289
投資その他の資産		
投資有価証券	467,598	457,898
長期貸付金	21,544	19,549
その他	231,174	243,127
貸倒引当金	△16,381	△16,381
投資その他の資産合計	703,935	704,193
固定資産合計	1,469,653	1,393,243
資産合計	8,428,930	8,338,248
負債の部		
流動負債		
買掛金	134,838	126,815
未払金	212,062	158,986
1年内返済予定の長期借入金	160,000	160,000
未払法人税等	9,839	5,512
ポイント引当金	190	224
その他	86,040	121,167
流動負債合計	602,971	572,705
固定負債		
長期借入金	120,000	80,000
固定負債合計	120,000	80,000
負債合計	722,971	652,705
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,476,343	1,476,343
資本剰余金	1,401,718	1,401,718
利益剰余金	6,094,112	6,056,704
自己株式	△1,418,644	△1,418,644
株主資本合計	7,553,530	7,516,122
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	569	569
為替換算調整勘定	151,859	168,850
その他の包括利益累計額合計	152,428	169,419
純資産合計	7,705,958	7,685,542
負債純資産合計	8,428,930	8,338,248

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年7月31日)
売上高	1,446,993	1,163,922
売上原価	545,172	416,435
売上総利益	901,820	747,487
販売費及び一般管理費	792,748	708,165
営業利益	109,071	39,322
営業外収益		
受取利息	249	174
為替差益	63,765	—
未払配当金除斥益	1,890	1,418
貸倒引当金戻入額	427	—
その他	2,098	193
営業外収益合計	68,430	1,787
営業外費用		
支払利息	828	432
為替差損	—	90,588
その他	48	43
営業外費用合計	877	91,063
経常利益又は経常損失(△)	176,625	△49,953
特別利益		
投資有価証券売却益	154,129	—
特別利益合計	154,129	—
特別損失		
固定資産除売却損	7	—
関係会社株式売却損	17,709	—
減損損失	13,333	—
特別損失合計	31,050	—
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	299,703	△49,953
法人税、住民税及び事業税	2,004	4,376
法人税等調整額	100,685	△16,922
法人税等合計	102,690	△12,546
四半期純利益又は四半期純損失(△)	197,013	△37,407
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	197,013	△37,407

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年5月1日 至 平成27年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年5月1日 至 平成28年7月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	197,013	△37,407
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△109,009	—
為替換算調整勘定	△25,559	16,991
その他の包括利益合計	△134,568	16,991
四半期包括利益	62,444	△20,415
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	62,444	△20,415
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年5月1日 至平成27年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	モバイル サービス 事業	海外事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	971,908	143,725	1,115,634	331,358	1,446,993	—	1,446,993
セグメント間の内部売上高又は振替高	792	—	792	201	993	△993	—
計	972,700	143,725	1,116,426	331,560	1,447,986	△993	1,446,993
セグメント利益又はセグメント損失(△)	220,149	△973	219,175	7,283	226,459	△117,387	109,071

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コマース関連事業及び受託業務並びに旅行業等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「モバイルサービス事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。

なお、当第1四半期連結累計期間における減損損失計上額は、13,333千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「モバイルサービス事業」セグメントにおいて、のれんの減損を行ったことにより、のれんが減少しております。当該事象によるのれんの減少額は、当第1四半期連結累計期間においては13,333千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年5月1日 至平成28年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	モバイル サービス 事業	海外事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	905,686	91,488	997,174	166,748	1,163,922	—	1,163,922
セグメント間の内部売上高又は振替高	80	—	80	73	153	△153	—
計	905,766	91,488	997,254	166,821	1,164,075	△153	1,163,922
セグメント利益又はセグメント損失(△)	170,526	140	170,666	△1,252	169,414	△130,091	39,322

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コマース関連事業及び受託業務並びに旅行業等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来「モバイルサービス事業」セグメントに含めていた占いASP事業等を、組織変更に伴い「その他の事業」セグメントに含めております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。